（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ごえん黒崎			
○保護者評価実施期間	2026年10月9日	～	2026年10月21日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数）	8
○従業者評価実施期間	2026年10月9日	～	2026年10月21日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10	（回答者数）	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年11月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性や発達に応じた個別支援	原則として、こどもとスタッフが1対1で支援を行っています。こどもや保護者の意向を踏まえて支援計画を作成し、スタッフ間で話し合いながら、一人ひとりの特性に応じたプログラムを検討しています。	支援会議や症例検討を通じて、こどもの特性や支援方法について職員間で理解を深め、支援の質の向上と安定した支援につなげていきます。
2	保護者が支援を見学・相談できる環境	保護者が療育場面を見学できるようにし、必要に応じて支援の目的やポイントを伝えています。また、日々の困りごとや成長について相談できるよう努め、定期的なモニタリングを通じて情報を共有しています。	保護者の不安や悩みを把握し、家庭での関わり方や今後の支援について一緒に考える機会を大切にしていきます。
3	保護者同士が交流し、悩みや情報を共有できる機会	ポケモンカード大会や調理活動、保護者会などを実施しています。こどもたちの交流だけでなく、保護者が不安や悩みを共有する場や、相談支援事業所などの関係機関とのつながりを深める機会にもなっています。	保護者のニーズを踏まえてイベントの内容を検討し、家族同士が交流できる機会や関係機関との連携を深める機会を継続して設けていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援と小集団活動の使い分け	個別支援を基本としているため、他児と一緒に活動したり、集団の中で経験を積んだりする機会が限られる場合があります。	こどもの発達や状況に応じて、個別支援と小集団活動を組み合わせ、他児との交流や集団での活動を経験できる機会を検討していきます。
2	保護者同士が交流・相談できる機会の充実	保護者会やイベントを通じて交流の機会を設けていますが、保護者によって参加できる機会や希望する内容は異なります。	保護者の意見や希望を確認しながら、無理なく参加でき、悩みや情報を共有できる機会の充実を検討していきます。
3	職員間での情報共有や業務の引き継ぎ	職員によって担当業務に偏りがあり、業務を教え合う時間や、必要なときに相談する機会が不足しています。そのため、業務の進め方や情報が一部の職員に偏りやすい状況があります。	業務内容や役割分担を整理し、職員間で業務を共有する機会を設けます。手順の明確化や記録の整備を進め、職員同士が教え合い、相談しながら業務を進められる体制を整えていきます。